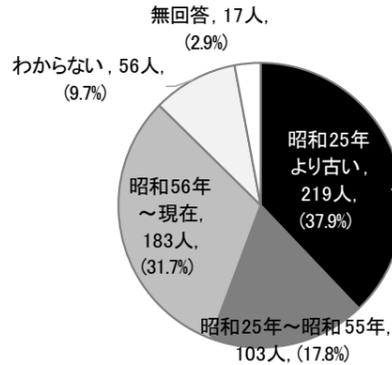


Q ご自宅が建てられた時期は？

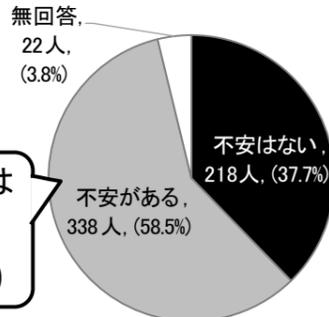
- ・昭和25年より古い：219人（約38%）
- ・昭和56年以降：183人（約32%）



昭和56年より古い時期に建てられたものが、合わせて**322人（約56%）**

Q 地震が起こった時、不安はありませんか？

- ・不安はない：218人（約38%）
- ・不安がある：338人（約59%）



不安がある人は**338人（約59%）**

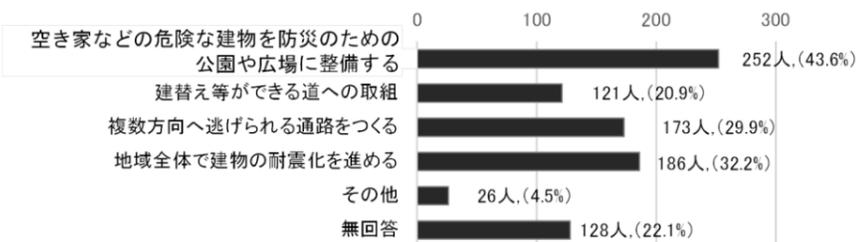
【コラム：建物の耐震基準】

建築基準法は、昭和25年に制定され、昭和56年に耐震基準が強化されました。昭和56年以前とそれ以降の建物では、地震に対する強さが違います。

ご自宅を地震に強くすることは、ご自身やご家族の身を守るだけでなく、まちの防災性を高めるためにも大切です。耐震診断や改修のための市の助成制度があります。（制度の問合せ先については、このページ右下欄の②）

Q 災害に強いまちづくりに向けて、みんなで取り組みたいことは？

- ・空き家などの危険な建物を防災のための公園や広場にする：252人（約44%）
- ・地域全体で建物の耐震化を進める：186人（約32%）



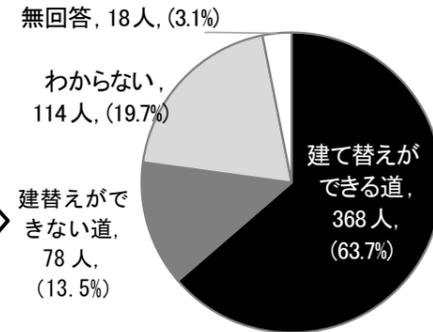
地域全体で防災性を高める取組を進めていきますので、これらの取組に関心のある方は、お気軽に「六原学区防災まちづくり会議（自主防災会）」のメンバーまでお声かけください。

- ・家族で防災について共通理解しておくこと。防災の備えをしておくこと。
- ・町内の方々といつも声を掛け合い皆様のスキンシップを大切にしています。
- ・隣近所とのお付き合いを密にし、何かあれば協力し助け合っていきたいと思えます。
- ・高齢者や1人住まいの家が多いので、見守り、声掛けを含めて備えの手助けが大切。
- ・常に防災意識を持つようにする。地域の防災訓練等に積極的に参加する。
- ・1人で取り組んでも大丈夫です。防災は全員で取り組まなければなりません。

今後の防災まちづくりについて、たくさんのご意見・アイデア等を頂きました！

Q ご自宅前の道は、住宅等を建替えることができる道ですか？

- ・建替えができる道：368人（約64%）
- ・建替えができない道：78人（約14%）



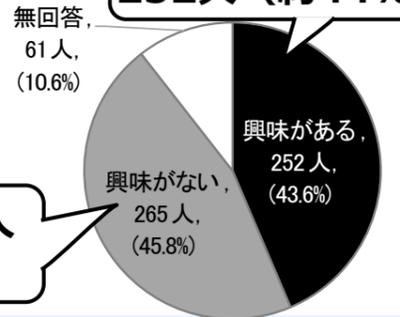
建替えができない道は**78人（約14%）**

【コラム：建替えができる道って？】

袋路や幅員が1.8m未満の道は建替えだけでなく、増築や大きな改修が困難なため、建物が老朽化する一因になります。今後、建替えの予定がなくても、建替えができる道になると、家や土地を資産として将来に引き継ぐことができ、改修の際に銀行の融資が受けられるなどのメリットもあります。また、建替えの際に必要な道路後退を緩和することで、路地のある町並みを残すこともできます。

Q 袋路や幅員の狭い道でも建替えができるようにする制度に興味はありますか？

- ・興味がある：252人（約44%）
- ・興味がない：265人（約46%）

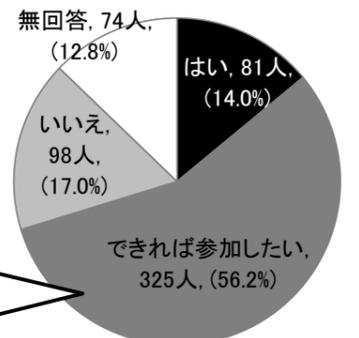


興味がない人のほうが多い

建替え等ができる道にすることで家や土地を資産として将来に引き継ぐことができます。今すぐ建替えの予定がなくても、今から考えていくことが大切です。（制度の問合せ先については、このページ下欄の①）

Q 六原学区防災まちづくり会議（自主防災会）が行う取組に参加していただけますか？

- ・できれば参加したい：325人（約56%）
- ・はい（参加したい）：81人（約14%）



「はい」と「できれば参加したい」を合わせて**406人（約70%）**

今後も防災まちづくりに関する様々な取組を継続していきますので、みなさんのご参加・ご協力をお願いします！

「六原住まいの応援談」で報告しました！(7/10)

六原学区防災まちづくり会議のメンバーが、これまでの活動やアンケート調査結果、今後の予定などを報告しました。学区の方々など約 60 名の方が参加され、防災まちづくりを進めていくうえでのご意見をいただきました。これからも、みなさんのご意見を踏まえながら、取組を進めていきます。



第1弾は
弓矢町内で

「地域ローラー作戦！！」を開催しました！(7/27)

弓矢町において、防災・耐震セミナーや建物点検、路地の状況などを再確認しながら災害に強いまちづくりのための具体的な対策を考える『地域ローラー作戦』を開催しました。悪天候の中、弓矢町のみなさまや自主防災会町部長にご参加いただき、建築士会や東山消防署等との連携のもと実施しました（総勢約 50 名）。

今後も、他のご町内でもこのような取組を開催していきますので、取り組んでみたい方は、お声かけください。

防災まちあるき

防災まちづくりマップを見ながら、町内の危険箇所などを確認しました。



普段住んでいる町の危険ポイントが分かった。

地域の防災の大事さがよくわかった。

建物点検（弓箭閣）

建築士会メンバーに、地震時の危険なポイントなどを解説してもらいました。



実物を見てためになった

防災について考える良い機会となった。

防災・耐震セミナー

防災まちづくりやすまいの耐震化について、クイズ形式で学びました。



2名の方がお住まいの耐震について相談されました。

■今年も「六原フェスタ 2014」で防災まちづくりイベントを開催します！

『六原学区防災まちづくり会議』では、今年も「六原フェスタ 2014(10/26(日))」において、防災まちづくり活動の一環として、子どもからお年寄りまで、みんなが楽しく防災まちづくりを学べるイベントを開催します。みなさまお誘い合わせのうえ、やすらぎ・ふれあい館にお越しください！



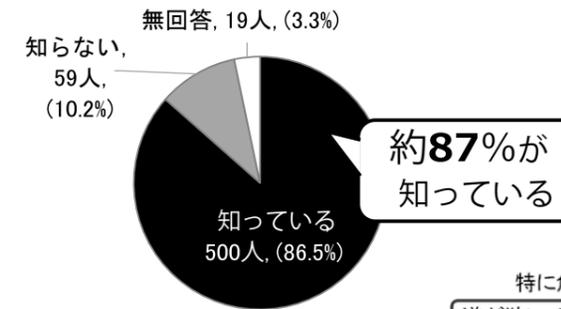
防災まちづくりに関する アンケート調査結果がまとまりました！

六原学区では、災害につよいまちを目指して「防災まちづくり」に取り組んでいます。この取組をさらに進めるため、学区のみなさんの心配事やご意見をお伺いするアンケート調査を実施しました。調査期間は、5/9～5/25 で、578 人の方から回答をいただきました。（回収率は 46.4%）お忙しいなか、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。概要をご報告します*。

この調査結果を踏まえ、これからも学区のみなさんと一緒に「防災まちづくり」を進めていきますので、ご協力をお願いします。

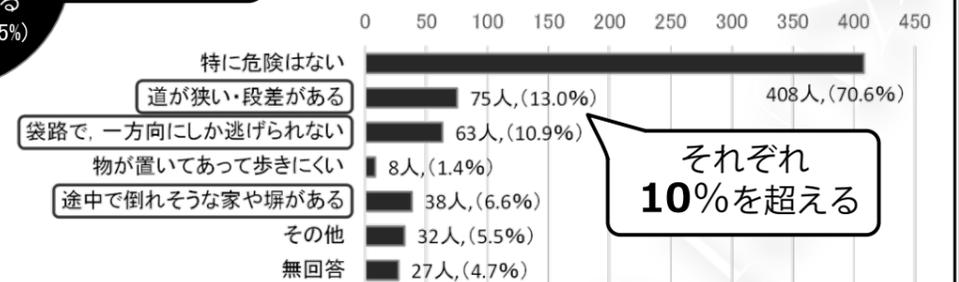
Q 地域の集合場所を知っていますか？

- ・知っている：500 人（約 87%）
- ・知らない：59 人（約 10%）



Q ご自宅から集合場所まで、安全に逃げることはできますか？

- ・特に危険はない：408 人（約 71%）
- ・道が狭い・段差がある：75 人（約 13%）
- ・袋路で、一方向にしか逃げられない：63 人（約 11%）



それぞれ
10%を超える

災害が起こった時に安全に避難できるように、路地や周辺建物の適正管理、袋路の2方向避難や袋路入口部分の安全を確保することが大切です。
路地沿いの老朽木造建物の除却やブロック塀の改善、袋路の安全確保のための市の助成制度があります。（制度の問合せ先については、中ページ右下欄の①）